

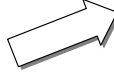
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-03-02-01
事務事業名	文化財保護事業		根拠法令・要綱等 文化財保護法
事業開始年度	平成7年度～		
総合計画	大項目	基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	歴史と文化の輝くまちづくり
	小項目	施策	文化財の保存と活用
		問合せ先	担当課(室) 生涯学習課 職・氏名 文化係長 石井啓 電話 0869-64-1841

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	文化財に興味のある人全般。
目的(何のために)	六古窯のひとつと言われながら、調査・研究が20年遅れていると言われている備前焼研究の現状の中、備前焼の歴史について未解明なことを明らかにする。また、文化財を保護し、かつ、その活用を図り、もって市民の文化向上に資することを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	歴史民俗資料館との連携によるフォーラム等の開催。 市内指定文化財についての周知。 説明板の修理・補修。 国指定史跡等の整備。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前市の文化財について多くの人に情報を提供することで、郷土の文化財の保護や活用について理解と興味を持ってもらい、後世にまで貴重な文化財を守っていく認識を深める。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	備前歴史フォーラム延参加者数		人	173	184	84
	遺物整理日数		日	240	240	240
	文化財保護審議会開催回数		回	3	3	3
	事業費		千円			
	直接事業費			14,094	15,057	11,071
	人件費			12,135	10,029	5,887
	事業費計			26,229	25,086	16,958
	財源		千円			
	国県支出金			4,484	6,390	4,600
受益者負担						
市一般財源			21,745	18,696	12,358	
必要人員		人	1.75	1.64	0.86	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	フォーラム参加平均人数		説明	備前歴史フォーラムへの参加者の平均数		
	結果指標量	人	87	92	84	
	対前年比	%	-	105.7%	91.3%	
	活動コスト	円	685,820	399,000	328,000	
結果指標	結果指標量	人	87	92	84	
対前年比	%	-	105.7%	91.3%		
活動コスト	円	685,820	399,000	328,000		
結果指標	結果指標量	人	87	92	84	
対前年比	%	-	105.7%	91.3%		
活動コスト	円	685,820	399,000	328,000		

事業の成果			
成果指標名	備前歴史フォーラム参加平均人数	式又は説明	備前歴史フォーラム延参加者数/開催日数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	87	92	84
対前年比	-	105.75%	91.30%
到達目標値	100	到達目標年度	平成21年度



事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	備前市内には多くの文化財が存在しているが、文化財に対する認識はそれほど高くないのが現状である。文化財は一度失われると元に戻すことはできない。身近にある文化財に対する見識を深め、どのように文化財と関わっていくか、保護していくかを市民一人一人が考えていけるようにしていかなければならない。	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	事業の改善点等を検討し、効率の向上に努めているが、文化財を保護・活用していくためには修理等維持費が必要になるためコストの削減は難しい。	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	B
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	平成19年度は今まで2日間行っていたフォーラムを生生涯学習フェスティバル事業との関連により1日に短縮した結果、参加人数が平成18年度よりわずかに減少している。しかし、毎年開催していることで、リピーターも多くなっている。今後も内容について多くの人の意見を取り入れながら、様々な情報を発信していけるように工夫していく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		備前歴史フォーラムは、平成19年度生涯学習フェスティバル事業との関連から2日間開催していたものを1日間開催へ変更した。しかし、受講者から2日間開催へ戻して欲しいとの要望があったため、2日間に変更する。
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 90	結果指標量	100

総合評価		評価区分<A-E>	B
文化財については、数字で評価することが難しい事業であるので、この評価シートだけで判断することは無理がある。備前焼をはじめ、市内文化財の周知については、広報びぜん文化財探訪で紹介したり、フォーラムを開催しており、市内外からの関心も高まりつつある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	アンケート結果等、様々な意見を取り入れていく。	平成21年度	リピーターの他に新たな参加者が見込める。

